



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月13日

上場会社名 株式会社 魚喜
コード番号 2683 URL <http://www.uoki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大庭 美和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 三富 秀雄

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	7,687	9.8	54		65		21	
2020年2月期第3四半期	8,527	5.9	9		10		37	

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 25百万円 (%) 2020年2月期第3四半期 36百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	8.36	
2020年2月期第3四半期	14.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	2,052	460	22.4	180.43
2020年2月期	2,671	435	16.3	170.47

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 460百万円 2020年2月期 435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		0.00	0.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	10.1	70	38.0	80	29.3	40	23.7	15.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	2,555,856 株	2020年2月期	2,555,856 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	2,172 株	2020年2月期	2,172 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	2,553,684 株	2020年2月期3Q	2,553,684 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により4月に発出された緊急事態宣言を機に経済活動が著しく制限され、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。5月に緊急事態宣言が解除されてからは、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮しつつ、「特別定額給付金」や「Go To キャンペーン」等の政策効果もあり、個人消費は徐々に持ち直してきましたが、11月に新型コロナウイルス感染が再拡大しており先行き不透明な状況が続いております。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染防止への対応として、第1四半期、第2四半期に引き続き、毎朝の検温実施、手洗い・アルコール消毒の実施の徹底、出張の制限、懇親会の自粛等の指示事項を定め、また、発熱者が出た場合の対応フローを作成し、お客様に安心してお買い物ができる態勢を整えたうえで店舗運営に努めてまいりました。

鮮魚事業に於いては、巣ごもり消費の需要を考慮した商品仕入や働き方改革によるローコストオペレーションを実施し、労働生産性の向上を図り、品切れや廃棄によるロスを無くし、店舗運営コストの見直しを行い、収益構造の改善にも取り組んでまいりました。また、飲食事業に於いても、緊急事態宣言解除後、売上は徐々に回復の兆しが見えてきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社の売上高は76億87百万円(前年同四半期比9.8%減)、売上総利益は33億53百万円(前年同四半期比6.1%減)、営業利益は54百万円(前年同四半期は9百万円の営業損失)、経常利益は65百万円(前年同四半期は10百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円(前年同四半期は37百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(鮮魚事業)

鮮魚事業の売上高は、68億85百万円(前年同四半期比8.1%減)となり、セグメント利益は、3億81百万円(前年同四半期比50.8%増)となりました。

(飲食事業)

飲食事業の売上高は、4億97百万円(前年同四半期比31.5%減)となり、セグメント損失は、15百万円(前年同四半期は47百万円のセグメント利益)となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上高は、3億36百万円(前年同四半期比1.6%減)となり、セグメント利益は、30百万円(前年同四半期比13.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億18百万円減少し、20億52百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ5億42百万円減少して13億8百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ76百万円減少して7億44百万円となりました。

(負債)

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ6億44百万円減少し、15億92百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ5億89百万円減少して11億70百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ54百万円減少して4億21百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、4億60百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年7月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,121	555,757
売掛金	527,448	485,726
商品	127,304	131,964
貯蔵品	12,532	10,508
その他	132,837	124,720
流動資産合計	1,851,245	1,308,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	529,464	485,679
減価償却累計額	△408,715	△374,134
建物及び構築物(純額)	120,748	111,545
工具、器具及び備品	797,119	746,977
減価償却累計額	△670,242	△621,747
工具、器具及び備品(純額)	126,877	125,230
土地	389	389
有形固定資産合計	248,015	237,164
無形固定資産		
その他	73,304	57,326
無形固定資産合計	73,304	57,326
投資その他の資産		
投資有価証券	64,542	70,439
敷金及び保証金	360,624	318,119
繰延税金資産	22,730	14,739
その他	51,433	46,431
投資その他の資産合計	499,330	449,729
固定資産合計	820,650	744,220
資産合計	2,671,896	2,052,898

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	735,891	434,433
短期借入金	250,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	212,512	190,470
未払金	295,695	237,263
未払法人税等	41,901	5,932
賞与引当金	18,000	899
資産除去債務	12,565	—
その他	193,460	151,265
流動負債合計	1,760,026	1,170,264
固定負債		
長期借入金	341,909	289,055
長期預り保証金	92,545	90,545
関係会社支援損失引当金	17,300	17,300
資産除去債務	24,778	24,965
固定負債合計	476,532	421,865
負債合計	2,236,559	1,592,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	△1,536,426	△1,515,086
自己株式	△5,634	△5,634
株主資本合計	427,985	449,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,351	11,444
その他の包括利益累計額合計	7,351	11,444
純資産合計	435,336	460,769
負債純資産合計	2,671,896	2,052,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	8,527,619	7,687,820
売上原価	4,954,448	4,334,190
売上総利益	3,573,170	3,353,629
販売費及び一般管理費	3,583,131	3,299,057
営業利益又は営業損失(△)	△9,960	54,572
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	1,548	1,398
受取手数料	1,037	428
助成金収入	1,098	3,741
受取補償金	—	5,942
その他	1,217	3,540
営業外収益合計	4,907	15,057
営業外費用		
支払利息	5,177	3,769
その他	20	28
営業外費用合計	5,197	3,797
経常利益又は経常損失(△)	△10,250	65,832
特別利益		
固定資産売却益	—	470
特別利益合計	—	470
特別損失		
固定資産除却損	1,902	956
減損損失	1,895	13,750
特別損失合計	3,797	14,706
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△14,048	51,597
法人税、住民税及び事業税	21,490	24,070
法人税等調整額	1,904	6,187
法人税等合計	23,394	30,257
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,442	21,340
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,442	21,340

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,442	21,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	939	4,092
その他の包括利益合計	939	4,092
四半期包括利益	△36,503	25,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,503	25,432
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(資本金、資本準備金および利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分)

当社は、2020年11月18日開催の取締役会において、2021年1月21日開催予定の臨時株主総会に「資本金、資本準備金および利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の件」について付議することを決議いたしました。

1. 目的

繰越利益剰余金の欠損を補填し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、早期に財務体質の健全化を図るとともに、早期復配体制の実現および今後の機動的な資本政策を可能とするものであります。

2. 要領

(1) 資本金の額の減少

①減少する資本金の額

資本金941,031,200円のうち841,031,200円を減少させ100,000,000円といたします。

②方法

会社法第447条第1項の規定に基づき、発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額を減少させ、減少額841,031,200円をその他資本剰余金に振替えることといたします。

(2) 資本準備金および利益準備金の額の減少

①減少する資本準備金および利益準備金の額

資本準備金1,029,015,026円のうち782,951,236円を減少させ246,063,790円といたします。

利益準備金14,000,000円の全額を減少させ0円といたします。

②方法

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金および利益準備金の額を減少させ、資本準備金の減少額782,951,236円をその他資本剰余金に、利益準備金の減少額14,000,000円を繰越利益剰余金に、振替えることといたします。

(3) 剰余金の処分

①減少する剰余金の額

その他資本剰余金 1,623,982,436円

②増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 1,623,982,436円

③方法

会社法第452条の規定に基づき、上記(1)資本金の額の減少および(2)資本準備金および利益準備金の額の減少の効力発生を条件に、増加するその他資本剰余金の全額を繰越利益剰余金に振替えることといたします。

以上により繰越損失1,637,982,436円を全額解消し、繰越利益剰余金は0円となる予定です。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2020年11月18日
(2) 臨時株主総会決議日	2021年1月21日
(3) 債権者異議申述公告日	2021年1月25日
(4) 債権者異議申述最終期日	2021年2月26日
(5) 効力発生日	2021年2月28日

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響の仮定について重要な変更を行っておりません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年3月1日 至2019年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,493,712	725,184	308,722	8,527,619	—	8,527,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	33,602	33,602	△33,602	—
計	7,493,712	725,184	342,325	8,561,221	△33,602	8,527,619
セグメント利益	253,072	47,796	35,416	336,286	△346,246	△9,960

（注）1. セグメント利益の調整額△346,246千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△346,669千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

鮮魚事業セグメントにおいて、閉店が確定した店舗及び営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間において1,895千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

重要な変動はありません。

（重要な負ののれん発生益）

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年3月1日 至2020年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,885,920	497,025	304,874	7,687,820	—	7,687,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	32,120	32,120	△32,120	—
計	6,885,920	497,025	336,995	7,719,940	△32,120	7,687,820
セグメント利益又は損失（△）	381,666	△15,144	30,646	397,168	△342,596	54,572

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△342,596千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△344,431千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

飲食事業セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において13,750千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

重要な変動はありません。

（重要な負ののれん発生益）

重要な負ののれん発生益はありません。